

プロジェクト課題No.1

ぶどう栽培者の技術力向上による 生産拡大

対象者：南三陸大粒ぶどう協議会（会員14人）

計画期間：令和8年度～令和9年度

チーム員：◎進藤、渡邊、木村、大野、佐藤



1-1 課題の背景(対象の概要)

- 南三陸町では中山間地でも栽培可能で高収益な生食用ぶどうの作付が拡大中

南三陸大粒ぶどう協議会

- 令和5年11月設立。R8.8現在 会員:15名 栽培面積:約100a
- 簡易雨よけ栽培や育苗ハウスを利用した栽培
- 統一の基準に基づく高品質な大粒系ぶどうの生産販売及びブランド化による生産拡大・認知度向上を目指している
- 環境負荷低減の取組(化学肥料・農薬の使用低減、町内資源を活用した施肥、土づくり等)の実施による差別化、付加価値向上を目指している

1-2 課題の背景

令和6年度～令和7年度

- ・栽培技術向上と高付加価値化による生食用ぶどう生産を支援し、生産量・販売量の増加を通じた新たな産地形成を図った
- ・『しおかぜ葡萄』のブランド立ち上げ・認知度向上及び品質向上を図った結果、『しおかぜ葡萄』の出荷量は目標(300kg)を大幅に上回る690kg(R7)が達成された

➡ 経験の浅い会員の技術指導や新規参入者の確保による生産量の増加が必要
さらなる環境負荷低減の導入及び軽労化にむけた技術支援が必要

南三陸大粒ぶどう協議会のぶどうの生産量の推移

【R5】 353kg → 【R6】 1,533kg → 【R7】 3,136kg

1-2 課題の背景(ねらい)

栽培歴の浅い会員が多いため
栽培技術にばらつきがある
(栽培歴10年未満が過半数)
(会員数 R5:9人→現在:15人)

栽培技術の底上げに向けた支援

持続可能な産地の形成に向けた
支援が必要

環境負荷低減及び軽労化の取組の導
入に向けた支援

産地の発展に向けてぶどうの生産
拡大が必要

新規栽培者の掘り起こしが必要

2 今年度の目標と活動項目

■定性的目標

基本技術励行及び栽培要領に基づいた栽培管理が行われることで、ぶどうの出荷量が増加する

■数値目標

ぶどうの生産量:【R7】 3,136kg → 【R8】 3,400kg → 【R9】 3,700kg

■活動項目

- 1 技術力向上支援及び経営費調査
- 2 環境負荷低減の取組及び軽労化支援
- 3 新規栽培者の掘り起こし

3 これまでの活動と成果

1 技術力向上支援及び経営費調査

【技術力向上支援】

- 花穂整形、摘粒等をテーマに実技形式の栽培研修会を2回開催

5月26日 第1回栽培研修会（花穂整形）

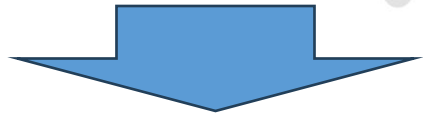
6月26日 第2回栽培研修会（摘粒）

- 会員の8割が参加し活発な意見交換が行われた
- 研修会での実技に加え、個別フォローを徹底した結果、摘粒未経験の会員でも適正に実施することができた



3 これまでの活動と成果

- 栽培経験の浅い会員を重点的に巡回を行い、新梢の繁茂による生育不良の解消やうどんこ病等の病害発生に対して技術指導を行った



- 実技を交えた新梢管理等の技術指導により生産者自身の判断・管理技術が向上し、生理不良が改善された他、病害の被害を最小限に抑えることができた



3 これまでの活動と成果

- 視察研修会の開催（協議会主催）を支援
視察先：「JRフルーツパーク仙台あらはま」、
「JA新みやぎファーマーズマーケット 元気くん市場」
- 栽培担当者から先進的な栽培管理について説明を受けた他、陳列されている県内のぶどうを参考に包装方法や価格について検討を行った結果、会員の栽培意欲向上が図られた



3 これまでの活動と成果

2 環境負荷低減の取組及び軽労化支援

【軽労化支援】

- 無核化処理作業（ジベレリン処理）及び摘粒作業の軽労化に向けて「らくらくカップ」及び「アシストスーツ」の効果検証調査を実施した
- 「らくらくカップ」及び「アシストスーツ」の実演会を栽培研修会と併せて実施し、試着等を通じて効果について周知を行った



らくらくカップ



アシストスーツ

3 これまでの活動と成果

【試験区】

ジベレリン処理：慣行、らくらくカップ、らくらくカップ＋アシストスーツ

摘粒作業：慣行、アシストスーツ

【調査項目】

作業時間（計測）、作業負担（聞き取り）

【調査方法】

作業時間：

ジベレリン処理：主枝1.5mの作業時間の3回計測、計測後、房数をカウント

摘粒作業：主枝1mの作業時間の3回計測、計測後、房数をカウント

作業負担：

ジベレリン処理、摘粒作業：作業者の主観に基づき、10段階で評価。

慣行作業の負担程度10とし、1から10で評価
（数字が低いほど負担程度が低い）

3 これまでの活動と成果

○ジベレリン処理

	1房当たりの 作業時間(秒)	作業時間 削減率(%)	作業負担＊
慣行	5.8	—	10
らくらくカップ	5	14%	5
らくらくカップ＋アシストスーツ	5.1	13%	5

＊作業負荷については対象者の主観に基づく(数字が低いほど負担程度が低い)

- ・無核化処理(ジベレリン処理)については10%程度の作業時間の削減と50%の作業負担軽減が確認された



3 これまでの活動と成果

○摘粒作業

	1房当たりの 作業時間(秒)	作業時間 削減率(%)	作業負担
慣行	104	—	10
アシストスーツ	101	3%	7

*作業負荷については対象者の主観に基づく(数字が低いほど負担程度が低い)

- 摘粒作業については3%程度の作業時間の削減と30%の作業負担軽減が確認された



3 これまでの活動と成果

らくらくカップも軽労化が期待できそうだ！
ただ、価格が高い部分がネックだな～

アシストスーツは長時間の摘粒作業をする場合に軽労化が期待できそう！



4 今後の対応

【技術力向上支援及び経営費調査】

- 9月の目揃え会及び南三陸さんさん商店街での販売会の開催を支援
- 12月に栽培研修会(せん定)を開催し、基本技術励行を支援
- 経営費の調査等を通じて経営収支を明らかにし、新規栽培者の掘り起こしに活用

【環境負荷低減の取組及び軽労化支援】

- 11月の出荷反省会で、軽労化調査結果や栽培・販売面の課題等を情報提供
- 12月にアシストスーツ及び電動せん定ばさみによるせん定作業軽労化検証を実施
- 3月にせん定枝炭化及びバイオ炭施用の取組の定着に向けた支援

【新規栽培者の掘り起こし】

- 販売会にて新規栽培者の掘り起こしを目的にチラシの配布等を実施

ご清聴ありがとうございました

